

効果にバラツキがある

## 男性用抗菌防臭肌着

### 1. 調査内容

#### (1) 対象

抗菌等を表示した男性用肌着（半袖シャツ、ランニングシャツ）8 銘柄

#### (2) 調査方法

着用試験、抗菌防臭効果・消臭性等の試験及び表示内容の確認

### 2. 調査結果のポイント

#### “バラツキがあった抗菌効果、2 銘柄は抗菌防臭効果に疑問”

新品時には 8 銘柄いずれも菌の増殖を抑制したが、抗菌防臭効果が期待できるまで抑制できないものが 2 銘柄あった。さらに規定の洗濯のみをくり返したところ、1 銘柄の抗菌防臭効果が低下した。（本文 P 9 及び P 3 表 3）

抗菌防臭効果の評価

	新品時	規定の洗濯後		新品時	規定の洗濯後
1	A	A	6	A	A
2	D	D	7	A	A
3	B	A	8	D	D
4	A	A	9	効果なし	—
5	A	C			

A：効果が期待できる

B、C：効果が期待できないときがある

D：効果が期待できない

(No. 9 は加工のない肌着)

#### “効果を実感した人は少ない”

抗菌等の加工肌着を着用した 15 名のうち、抗菌防臭効果を実感した人は 2 名であった。

(本文 P 6 表 5)

#### “効果の説明や加工剤の安全性などが消費者に分かりにくい”

「抗菌防臭加工」、「抗菌消臭加工」など加工表示に関する用語に統一性がなく、「素肌を清潔」、「肌をやさしく守る」など加工効果の説明が曖昧なものがあった。効果の持続性や、加工剤の種類が無記載のものがあった。加工剤の安全性に関する記載はテスト品すべてになかった。

(本文 P 7 表 6, 別表 1-1)

### 3. 結果に基づく措置

(社)繊維評価技術協議会等の関係業界に対して、加工内容、効果や持続性、加工剤の種類や安全性などを分かりやすく表示すること、及びなお一層の品質管理を徹底することを要望した。